

市政の窓



11月27日、令和5年12月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和5年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明し、市民の皆さんや市議会に理解と協力を求めました。要旨は次のとおりです。

今後4年間の取組方針として、これまでの経験を踏まえ、次の6つの基本政策の柱を継続することとしました。

「6つの基本政策」

- 「子育て・教育の満足度向上」
- 「暮らし・福祉の満足度向上」
- 「移住定住・にぎわい創出の魅力度向上」
- 「成長する産業づくりの拡大」
- 「安心・安全なまちづくりの拡大」
- 「持続可能な地域づくりと市役所の変革」

具体的には、子育て施策について、「0歳から2歳児の保育料の無償化」、「保育所・認定こども園の給食費の無償化」、「長期休暇中の放課後児童クラブでの昼食提供」などに取り組みほか、「高齢者等外出支援タクシー料金助成事業の進化」、「高齢者世帯等のごみ出し支援事業」などにより、暮らし・福祉の満足度向上を図ります。

上を図ります。

また、「高越山での自転車ヒルクライムレースの開催」による本市の魅力度向上や、私自身が首都圏などの都市部に出向き、農産物の販売促進や移住者の呼び込み、企業誘致などのトップセールスを展開するなど、それぞれの項目について内容を更に深化させていきます。

最近の市政の動き

●市制20周年記念ロゴマーク・キャッチフレーズ募集およびフォトコンテストの実施

来年10月に市制20周年の節目を迎えるにあたり、吉野川市への愛着感の高揚を図り、市民の皆さんと一緒に祝う機会にしたいと考えています。応募作品は、最優秀作品を選考し、市制20周年を広くPRするため、各種印刷物や関連グッズ、市ホームページなどで使用するほか、記念事業

目として、平成26年9月に「吉野川市高齢者見守りネットワーク事業」を開始し、事業活動を通じて高齢者と接することの多い民間事業者などと連携し、支援を必要として

においても使用する予定とし、また、応募写真は、市制20周年記念誌や市ホームページ、公式SNSへ掲載するとともに、写真展やスライドショーなどで広く発信していきます。

●ヨコタ上桜スポーツグラウンドシャワーユニット設置

ヨコタ上桜スポーツグラウンドのネーミングライツパートナーである株式会社ヨコタコーポレーション様から寄贈のシャワーユニット2基に加え、施設利用者の更なる利便性向上に繋がるよう、シャワーユニット2基を新たに設置します。

完成後は、シャワーユニットが4基となるため、更なる施設の利用促進を図るとともに、地域のにぎわい創出に繋げていきたいと考えています。

●連携協定の締結

本市では、平成26年9月に「吉野川市高齢者見守りネットワーク事業」を開始し、事業活動を通じて高齢者と接することの多い民間事業者などと連携し、支援を必要として

いる高齢者を早期に発見し必要な支援を行うなど、地域社会全体で高齢者を見守る体制を整えて参りました。このたび、去る11月20日に、医薬品総合商社の株式会社よんやく様と新たに連携協定を締結しました。

●職員の軽装による勤務の通年化

さらなる省エネルギーの推進に加え、働きやすい職場環境づくりや業務の効率化の一環として、本年11月から、職員の軽装による勤務の通年化を実施することとしました。実施に当たり、公務にふさわしい服装を基本とし、市民の皆さんに不快感を与えることなく、かつ、業務に支障のないように留意し、式典、会議などの社会通念上ネクタイや上着が必要と考えられる場において、TPO(時間・場所・場面)に応じて、適切な対応をとって参ります。

●子どもDoまんなか会議

去る10月10日、日本フネン市民プラザ内の「ちびっこプラザ」において、市内の小学生から高校生までの代表、総

子育て・教育の満足度向上

を果たし、第59回全国社会人サッカー選手権大会では、チームの過去最高成績となる3位に入賞しました。

11月開催の全国地域サッカーチャンピオンズリーグ1次ラウンドでは1勝2敗の成績で、残念ながら決勝ラウンド進出とはなりませんでしたが、チームは着実に成長しており、目標であるJFL昇格へさらなる飛躍を期待しているところでは、観客動員数が初めて1000人を超え、地域での知名度や浸透度も高まってきており、ホームタウンである本市のPRにも繋がっています。

●徳島ガンバローズホームゲーム「吉野川市民デー」の開催

去る11月11日および12日、日本フネン市民プラザにおいて、今シーズンからプロバスケットボールB3リーグに参入した徳島ガンバローズのホームゲームが「吉野川市民デー」として開催されました。当日は、ガンバローズのご厚意により、両日とも市内の小中高生を無料招待していたいたほか、対戦相手の地元鹿兒島県をはじめ県内外から多くの方にお越しいただき、



「吉野川市民デー」の様子

成長する産業づくりの拡大

●空き店舗活用支援!!お店びらき応援事業

本年10月末時点の実績は、本社機能を有する事務所、美容院、サロンの3店舗が、この補助金を活用し出店したほか、現在も市内経済団体を通じて多数の問い合わせがあります。

中心市街地の整備と相まって、本事業による効果が現れていると考えており、今後においても、市内経済団体と連携のもと事業を推進し、さらなる地域経済の活性化を図って参ります。



「子育て・教育の満足度向上」 「暮らし・福祉の満足度向上」 「移住定住・にぎわい創出の魅力度向上」 「成長する産業づくりの拡大」 「安心・安全なまちづくりの拡大」 「持続可能な地域づくりと市役所の変革」

具体的には、子育て施策について、「0歳から2歳児の保育料の無償化」、「保育所・認定こども園の給食費の無償化」、「長期休暇中の放課後児童クラブでの昼食提供」などに取り組みほか、「高齢者等外出支援タクシー料金助成事業の進化」、「高齢者世帯等のごみ出し支援事業」などにより、暮らし・福祉の満足度向上を図ります。

●教育集会所のトイレ洋式化

本市では、市内4カ所の教育集会所において人権学習を行っていますが、そのうち神島教育集会所および川島教育集会所には、洋式トイレが設置されていませんでした。近年、洋式トイレしか利用できない子どもが増えており、トイレを利用する児童のストレスを軽減し、学習環境の向上を図るため、両集会所の和式トイレを1基ずつ洋式化することとしました。

暮らし・福祉の満足度向上

「子育て・教育の満足度向上」 「暮らし・福祉の満足度向上」 「移住定住・にぎわい創出の魅力度向上」 「成長する産業づくりの拡大」 「安心・安全なまちづくりの拡大」 「持続可能な地域づくりと市役所の変革」

●高齢者等外出支援タクシー料金助成事業

本事業の10月末現在の状況は、968名の方から申請いただき、そのうち953名の方に助成券を交付しています。引き続き申請を受け付けていますので、助成対象要件を満たす方は、今一度ご確認

●高齢者インフルエンザ定期接種促進事業

インフルエンザワクチンの予防接種は、インフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。本年度は、重症化リスクの高い高齢者を対象に県の補助制度を活用し、800円の自己負担額で接種を受けられます。

●寄付金を活用した健康器具の購入

去る9月21日、明治安田生命保険相互会社徳島支社様から「私の地元応援募金」として、30万8500円の寄付をいただきました。これは、明治安田生命グループの全従業員が出身地や居住地などのゆかりのある地域へ募金し、さらに会社からの寄付金を上乗せして支援す

●国民健康保険高額療養費支給に関する手続きの簡素化

これまで、国民健康保険の高額療養費の支給を受けるには、診療月ごとに「高額療養費支給申請書」を提出いただいていたのですが、本年9月診療分以降の高額療養費については、「国民健康保険高額療養費支給に関する手続きの簡素化申請書」の提出により、指定された口座に自動振込ができるよう、手続きの簡素化を図りました。

●FC徳島の今シーズンの戦績

FC徳島は、今シーズン3期連続での四国リーグ優勝

